

広報 **きたもと**

きっと、もって、きたもとが好きになる 旬な話題をお届け!

11^月
2019 No.981

特集面

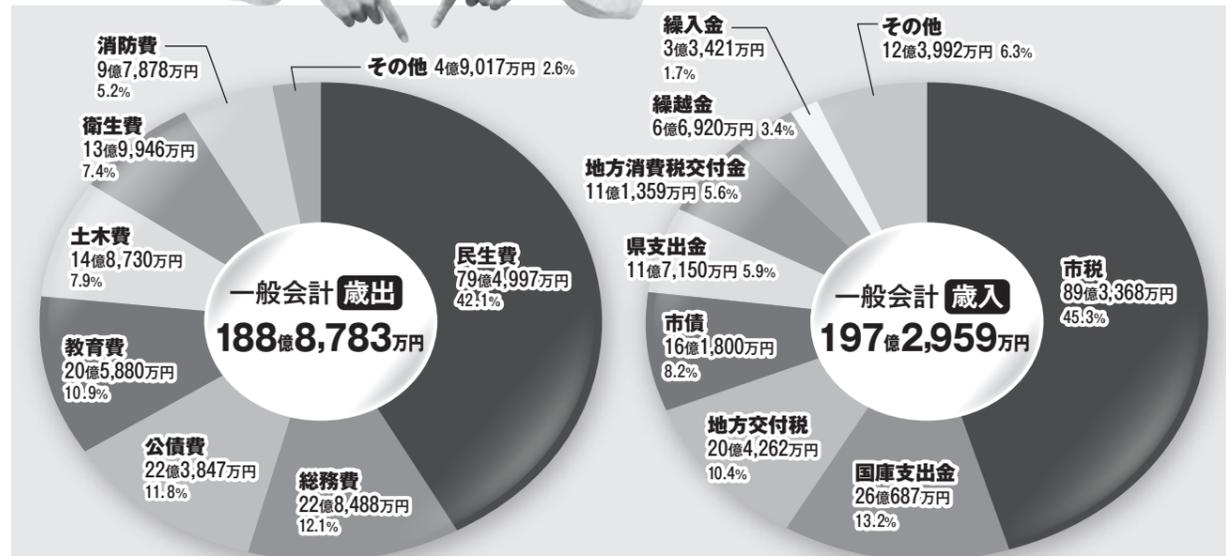
「ミライ」に繋げ
魅力あるまち



財政状況
伝える

「ミライ」のための「イマ」!!の巻

特集 平成30年度 北本市決算報告

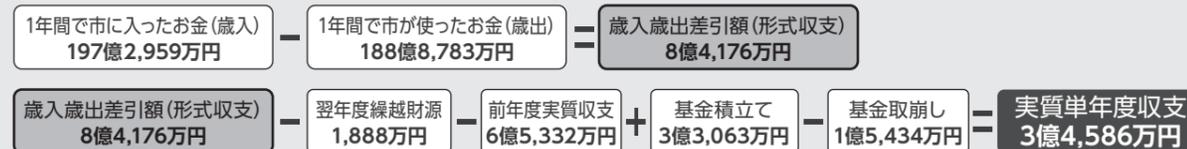


市民一人あたりに換算すると(平成31年4月1日時点の人口66,468人で計算)

民生費	11万9,606円	公債費	3万3,677円	土木費	2万2,376円	消防費	1万4,726円
総務費	3万4,376円	教育費	3万974円	衛生費	2万1,055円	その他	7,374円
					合計	28万4,164円	

市民税(個人)を市民一人あたりに換算すると5万7,212円。
市民税を大きく上回る支出は国からの補助金の活用等でまかなわれています。

■実質単年度収支



※端数処理のため、合計が合わないことがあります。

■平成30年度北本市財政の健全化判断比率

地方公共団体の財政状況を確認するための全国統一の指標である「健全化判断比率」という4つの財政指標があります。北本市では、全ての比率で、健全な水準を堅持しています。

指標	内容	結果	早期健全化基準※
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	12.98%
連結実質赤字比率	一般会計のほか、特別・企業会計も含めた全会計の赤字の割合	赤字なし	17.98%
実質公債費比率	年間の借金返済額の割合	7.3%	25%
将来負担比率	将来に負担が見込まれる負債(借金)の割合	34.3%	350%

※この基準を超えると国の定めに従い、健全化に向けた取り組みが必要となります。



「ミライ」のための「イマ」!!の巻



平成30年度に行った主な事業

子ども医療費支給対象年齢拡大事業

子育て世帯の経済的負担を軽減し、子育て支援の一層の充実を図るため、子ども医療費の支給対象年齢を満18歳の年度末までに拡大しました。

事業費：692万円

☎ 図 ともども課 子育て支援担当
☎ 594-5537



子育て世代包括支援センター開設事業

妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援体制を目指し、子育て世代包括支援センターを開設し、利用者支援事業および産前サポート事業・産後ケア事業を実施しました。

事業費：355万円

☎ 図 健康づくり課
☎ 594-5544



健康長寿ウォーキング事業

健康寿命の延伸のため、ウォーキングを推進するとともに、筋トレ教室やラジオ体操講座、栄養教室、健康スタンプ事業を行いました。

事業費：468万円

☎ 図 スポーツ健康課
☎ 594-5568



森林セラピー事業

森林セラピー基地認定取得のため、審査に必要な測定業務や準備調査を実施し、生理・心理実験データを分析したものを実績報告書にまとめることで、平成31年4月の認定取得につながりました。

事業費：201万円

☎ 図 地域経済推進課
商工労政・観光担当
☎ 594-5530



産業振興ビジョン策定事業

第五次北本市総合振興計画に掲げる「活力あふれるまち」の実現に向け、産業振興による市内経済の活性化を目指すための基本方針およびアクションプランを策定しました。

事業費：444万円

☎ 図 地域経済推進課
商工労政・観光担当
☎ 594-5530

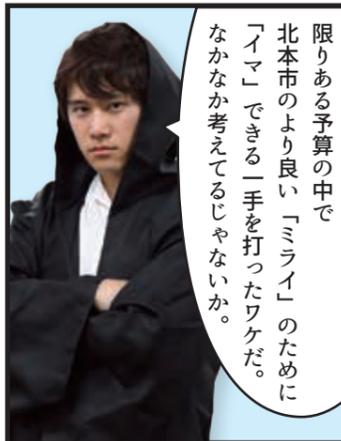


北本駅東口公衆トイレ整備事業

県の「みんなに親しまれる駅づくり事業補助金」を活用し、北本駅東口駅前広場隣接地に公衆トイレを整備し、利便性の向上を図りました。

事業費：2,744万円

☎ 図 契約管財課 資産管理担当
☎ 594-5509





完

令和2年度 予算編成進行中!

令和2年度は第五次北本市総合振興計画前期基本計画の最終年度です。既存事業を見直し、予算編成の基本方針に基づいた、皆さんが「いつまでも住み続けたい」と思えるまちに向けて、令和2年度予算の作成を行います。

令和2年度予算編成方針はこちら→



CHECK!! シティプロモーション推進方針に基づく取組を実施!

現在、きたもと暮らし研究会を結成し、年齢、市内外在住、職業を問わず、未来の北本の可能性を研究しています。

令和2年度においても、取組を実施していきますので、北本の暮らしをもっと楽しみたい! 北本で何かしてみたい! など、一緒に北本でまちづくりを楽しみたい人はぜひご参加ください!

「きたもと暮らし研究会」の様子は こちら



令和2年度の予算要求状況を11月下旬から市ホームページで公表します!

11月下旬から、市ホームページで令和2年度の予算要求状況を公表します。気になる人は市ホームページ(トップページ・トピックス掲載)へ! 市ホームページを見ることができない人は財政課(庁舎2階)までお越しください。

財政課財政担当 ☎594-5512



既存の事業を見直し、 未来への投資を

北本市長 三宮 幸雄

北本市は、人口減少を伴う高齢者の増加で、市税収入の減少と、社会保障関係経費の増加が見込まれます。また、公共施設の適正配置に伴う改修・整備への対応や一部事務組合による新たな一般廃棄物処理施設の整備など、時代に対応した財政運営が求められています。

課題は、既存事業の再点検と事業の優先度の整理です。事務事業評価や行政改革推進委員会の活用など、これまで

の行政評価を継続しつつ、市民の皆さんのご意見もいただきながら、どのサービスを優先すべきかをよく検討し、事業の見直しを図ってまいります。

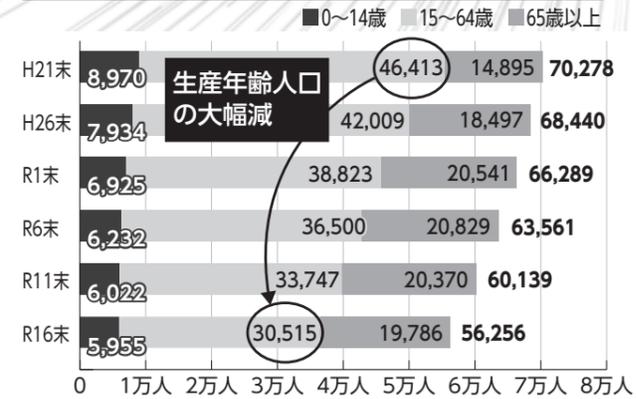
また、都心からのアクセスが良いだけでなく、大宮台地の高台にあることから災害に強く、その高台から生まれる湧き水や動植物が育つ豊かな自然は、このまちの最大の魅力だと考えています。本市の特色を伸ばし、対外的にアピールすることで、本市の魅力を高める施策を実施したいと考えます。

市内外問わず多くの人から魅力を感じていただくとともに、市民に「住み続けたいまち」と実感していただけるよう、本市の特色をいかした事業に積極的に取り組み、だれもがまちに愛着と誇りを持って、いつまでも住み続けたいと思えるよう、施策・事業の展開を図ってまいります。

市民の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。



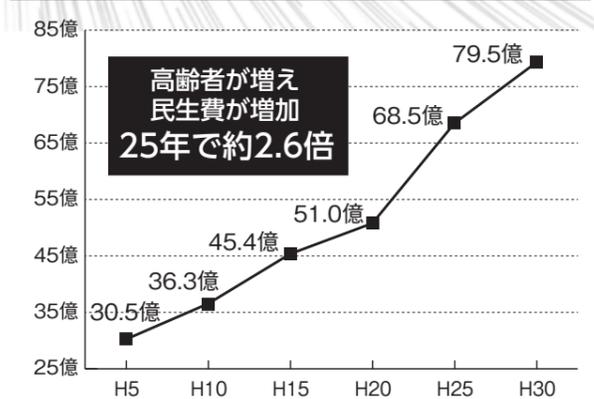
人口の推移・推計



市を支える生産年齢人口は大幅に減少します。これにより、行政収入(市税など)も減少する見込みです。

出典:北本市まちひとしごと創生人口ビジョン

民生費(社会保障系の費用)決算額の推移



高齢者が増え 民生費が増加 25年で約2.6倍

25年間で約2.6倍に。今後も高齢者の増加等に伴い、増えていく見込みです。

